

世界史 キリスト教史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前 _____

記事「世界史 キリスト教史まとめ | 成立から宗教改革までの流れを整理」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 救世主を意味するヘブライ語「メシア」をギリシア語に訳した言葉は何か。

2 はじめはキリスト教徒を迫害する側だったが、回心してユダヤ人以外の人々（異邦人）への伝道に力を注いだ人物は誰か。

3 初期のキリスト教徒が死者を葬り、迫害の時代には礼拝や集会の場としても使った地下の墓所を何というか。

4 父なる神・子なるキリスト・聖霊を一体とし、381年のコンスタンティノープル公会議で正統の教義として確立した説は何か。

5 ローマ・コンスタンティノープル・アレクサンドリア・アンティオキア・イェルサレムの5つの中心的な教会をまとめて何というか。

6 496年に正統のアタナシウス派に改宗し、ローマ教会の支持を得たフランク王は誰か。

7 10世紀末にギリシア正教を受け入れ、ロシアにビザンツ文化が流れこむきっかけをつくったキエフ公国の君主は誰か。

8 1122年に結ばれ、叙任権闘争に妥協をもたらした取り決めは何か。

9 在位1198～1216年、イギリス王ジョンを破門して臣従させるなど、教皇権の絶頂期を築いた教皇は誰か。

10 1545年から1563年まで断続的に開かれ、カトリックの教義を改めて確認した公会議は何か。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 ローマ帝国とキリスト教について。

- ア ネロ帝は、64年にローマの大火の責任をキリスト教徒に負わせて処刑した。
- イ ディオクレティアヌス帝は、303年に帝国全体での大迫害を始めた。
- ウ テオドシウス帝は、ミラノ勅令でキリスト教を公認した。
- エ コンスタンティヌス帝は、都をビザンティウムへ移してコンスタンティノープルと改めた。

12 東西教会の分裂について。

- ア 聖像禁止令は、ビザンツ皇帝レオン3世が出した。
- イ ピピンは、ラヴェンナ地方を教皇に献じた。
- ウ 1054年に、ローマ・カトリック教会とギリシア正教会に分裂した。
- エ ギリシア正教会では、ローマ教皇が全体の首長となった。

13 中世の教皇権について。

- ア グレゴリウス7世は、聖職売買と聖職者の妻帯を禁じた。
- イ カノッサの屈辱によって、叙任権闘争は完全に終わった。
- ウ ウルバヌス2世は、クレルモン宗教会議で十字軍を提唱した。
- エ 第4回十字軍は、コンスタンティノープルを占領してラテン帝国を建てた。

14 宗教改革と対抗宗教改革について。

- ア ルターは、ヴォルムス帝国議会でも自説の撤回を拒んだ。
- イ アウクスブルクの和議で、カルヴァン派も認められた。
- ウ ヘンリ8世は、首長法で国王をイギリス国教会の首長とした。
- エ イエズス会は、イグナティウス＝ロヨラらが結成した。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 ローマ帝国の時代の出来事を年代順に並べなさい。

- ア ニケーア公会議が開かれた。
- イ ミラノ勅令が出された。
- ウ テオドシウス帝がキリスト教以外の宗教を禁じた。
- エ カルケドン公会議が開かれた。

16 東西教会の分裂に関わる出来事を年代順に並べなさい。

- ア カールの戴冠
- イ 聖像禁止令
- ウ 東西教会の分裂
- エ ピピンの寄進

17 教皇権に関わる出来事を年代順に並べなさい。

- ア アナーニ事件
- イ コンスタンツ公会議の開始
- ウ カノッサの屈辱
- エ 教会大分裂の始まり

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 8世紀から11世紀にかけて、ローマ教会とコンスタンティノーブル教会が分裂するまでの過程を、次の語句を用いて150字程度で説明しなさい。(聖像禁止令／ピピンの寄進／カールの戴冠)

19 16世紀のドイツとイギリスの宗教改革について、始まったきっかけと、その体制が認められた（確立した）取り決めに比べながら150字程度で説明しなさい。

.....

世界史 キリスト教史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 キリスト

弟子たちはイエスが復活したと確信し、イエスを救世主と信じるようになりました。ここからキリスト教が始まりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／成立

2 パウロ

パウロの手紙は新約聖書の重要な部分になっています。弟子の筆頭で、カトリック教会で初代の教皇とされるペテロと区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／成立

3 カタコンベ

ローマ帝国では皇帝を神として崇拝することが求められ、これを拒んだキリスト教徒はたびたび迫害されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／迫害から公認・国教化へ

4 三位一体説

325年のニケーア公会議ではキリストを神と同質とするアタナシウス派が正統とされ、その考えが381年に教義として確立しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／公会議と正統・異端

5 五本山

そのうちローマ教会とコンスタンティノープル教会が首位を争い、のちの東西分裂につながりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ

6 クローヴィス

ゲルマン人の間には異端とされたアリウス派も広まっていた。クローヴィスは正統派に改宗し、ローマ教会の支持を得ました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ

7 ウラディミル1世

ギリシア正教はスラヴ人の世界に広がりました。キリル文字は、スラヴ人への布教を進めた宣教師キュリロスの名にちなみます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ

8 ヴォルムス協約

1077年のカノッサの屈辱で争いが終わったわけではありません。「カノッサ→ヴォルムス協約」の順を確認します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／教皇権の絶頂

9 インノケンティウス3世

コンスタンティノープルを占領した第4回十字軍を提唱したのもこの教皇です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／教皇権の絶頂

10 トリエント公会議

プロテスタントに対抗するカトリック側の立て直し（対抗宗教改革）の中心となりました。禁書目録もこのころ作られています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／対抗宗教改革と宗教戦争

第2部 正誤問題

11 ウ

ミラノ勅令（313年）を出したのはコンスタンティヌス帝です。テオドシウス帝は392年にキリスト教以外の宗教を禁じました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／迫害から公認・国教化へ、入試で狙われるポイント

12 エ

ギリシア正教会には、ローマ教皇のような全体の首長はいません。ビザンツ帝国では皇帝が教会に大きな権限を持ちました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ（比較の表）

13 イ

カノッサの屈辱のあとも争いは続き、1122年のヴォルムス協約で妥協が成立しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／教皇権の絶頂

14 イ

アウクスブルクの和議（1555年）で選べたのはカトリックとルター派だけで、カルヴァン派は除外されました。カルヴァン派が認められたのは1648年のウェストファリア条約です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／宗教改革、比べて覚える

第3部 年代の並べ替え

15 イ→ア→ウ→エ

ミラノ勅令（313年）→ニケーア公会議（325年）→ほかの宗教の禁止（392年）→カルケドン公会議（451年）の順です。公認と国教化の間にニケーア公会議が入ります。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 イ→エ→ア→ウ

聖像禁止令（726年）→ピピンの寄進（756年）→カールの戴冠（800年）→東西教会の分裂（1054年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ

17 ウ→ア→エ→イ

カノッサの屈辱（1077年）→アナーニ事件（1303年）→教会大分裂の始まり（1378年）→コンスタンツ公会議の開始（1414年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／教皇権の絶頂・衰退

第4部 論述問題

- 18 解答例：ローマ教会とコンスタンティノープル教会は首位をめぐって争っていた。726年にビザンツ皇帝レオン3世が聖像禁止令を出すとローマ教皇は反対し、フランク王国と結びつきを深めた。756年のピピンの寄進で教皇領を得て、800年のカールの戴冠で西ヨーロッパにも皇帝を立て、1054年に両教会は互いに破門して分裂した。

採点のポイント：①五本山のうちローマとコンスタンティノープルが首位を争ったこと、②聖像禁止令とローマ教皇の反対、③フランク王国との結びつき（ピピンの寄進・カールの戴冠）、④1054年の相互破門による分裂が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／聖像禁止令から東西分裂へ、論述で使える要点

- 19 解答例：ドイツでは1517年、ルターが贖宥状の販売を批判して九十五カ条の論題を発表し、人は信仰によってのみ救われると説いた。ルター派を受け入れる諸侯が現れ、1555年のアウクスブルクの和議で諸侯がルター派を選べるようになった。イギリスではヘンリ8世が離婚問題から1534年に首長法を定めて国教会をつくり、エリザベス1世の1559年の統一法で確立した。

採点のポイント：①ドイツのきっかけ（贖宥状への批判・九十五カ条の論題）、②ルターの主張、③アウクスブルクの和議（選べたのは諸侯）、④イギリスのきっかけ（国王の離婚問題）と首長法、⑤統一法による確立が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／宗教改革、比べて覚える